

吉岡買い物支援プロジェクト

～地域住民の『お互いさまのたすけ合い』活動～

吉岡買い物ツアー

吉岡地区は坂が多く、バスやコミバスの便もあまり良くありません。買い物に行くにも不便を感じていませんか。吉岡地区の高齢者や障がい者のための『買い物バス』を運行します。

使ってみたい方はご連絡下さい😊

吉岡買い物ツアー

- ・運行 第1火曜日と第2火曜日 及び月末の土曜日(基本)
- ・目的地 ロピア綾瀬店及びタウンヒルズ
- ・時間 10時から12時(予定)
- ・集合場所 芝原公民館(10時) 加藤功宅前(10時30分)
- ・乗車料金 無料

☆バスは8人乗りワゴン車で、唐池学園の協力で行われます。

★登録をして参加して下さい。

- ・申し込み：☎ 090-4849-9990 (加藤功)
- ・吉岡買い物支援プロジェクト代表
- ・吉岡地区社協への賛助会費(年間1,200円)を取っていただきます。


運転・添乗 ボランティアを募集しています!

買い物ツアーの車を運転や添乗してくれる人

- ・毎回でなくてもOK
- ・できるときだけの参加でOK

☆運転や添乗の研修も行います。

吉岡買い物支援プロジェクト代表 加藤功



吉岡で「地域の足」試運行

地域住民主体で可能性探る




主権は「吉岡買い物支援プロジェクト」。地域住民が主体となり立ち上げたもので、「福祉団体育成事業(通称・おでかけあやせ)」として市も協力している。

試験運行のきっかけは、地区社協と民生委員・児童委員、自治会長、地域の住民や法人が参加するのを機に、買い物に困る人なを模索していった。

「さあ、いよいよ試運行だ」と、同会議は地域が抱える問題の解決方法を話し合う場として行われており、吉岡地区ではかねてより買い物支援が課題として上がっていた。

そこで事業のことを知った地域住民が、市に部外に、勉強会の開催を依頼。これに、買い物に困る人なを模索していった。

「買い物後のアンケートの反応は良くて、移動中も参加者同士、会話を楽しくもなしていった。解散地の芝原公民館では、買った弁当を食べながら和気あいあいとするなど、地域のコミュニティ形成の場としての可能性も見えたという。

「買い物支援プロジェクト」の試運行は、地域住民が主体となり立ち上げたもので、「福祉団体育成事業(通称・おでかけあやせ)」として市も協力している。

「さあ、いよいよ試運行だ」と、同会議は地域が抱える問題の解決方法を話し合う場として行われており、吉岡地区ではかねてより買い物支援が課題として上がっていた。

そこで事業のことを知った地域住民が、市に部外に、勉強会の開催を依頼。これに、買い物に困る人なを模索していった。

「買い物後のアンケートの反応は良くて、移動中も参加者同士、会話を楽しくもなしていった。解散地の芝原公民館では、買った弁当を食べながら和気あいあいとするなど、地域のコミュニティ形成の場としての可能性も見えたという。

- ### 吉岡買い物支援プロジェクト活動
- 2019年1月
 - ・外出支援活動に向けての意見交換会開始
 - ・登録不要(無償)の外出支援の学習
 - ・吉岡地区でのニーズ、可能性について検討
 - 2019年1月10日
 - ・吉岡買い物支援プロジェクトを設立
 - 参加者 地域住民5名 地域の社会福祉法人「唐池学園」1名
 - その後
 - ・プロジェクト会議を10回開催
 - ・試験運行4回、アンケート実施、検証を行う
 - ・「唐池学園」の協力決定
 - 車両、運転者1名の提供。車両保険・ガソリン代負担
 - 2019年10月15日
 - ・吉岡買い物ツアー運行開始
 - 運転ボランティア6名、添乗ボランティア6名
 - 利用者17名
 - 月3回の運行、乗車料金：無料
 - 2022年9月現在
 - ・ボランティア9名(60～70代：7名、40～50代：2名)
 - 利用登録者23名(72～86歳)
 - ・ボランティアの自家用車(2～3台)も活用
 - 2019.10～2022.9までに(一時コロナで中止：19回)87回運行
 - 利用者(延べ)1243名、運転ボラ(延)274名



コロナの前は、買い物後には食事をしたり、おしゃべりしたり、楽しいひと時を過ごしていました



コロナ禍でも、生活に必要な買い物の足は止めなかった。コロナが収まれば、楽しみのツアーも始めたい。